

令和 7 年度 事業計画

公益財団法人 びわ湖芸術文化財団

1 基本方針

令和 7 年度は、滋賀県から受託する滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよび滋賀県立文化産業交流会館の当期指定管理の最終年度となる。

滋賀県文化振興基本方針（第 3 次）の基本目標である「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を実現するため、令和 3 年 3 月に策定した「中期経営計画」に基づき、県立文化ホール 2 館体制のもと、びわ湖ホールでは、本県の舞台芸術の中心的な施設として、優れた舞台芸術を国内外に発信するとともに、地域に根ざした文化芸術活動を支援する文化産業交流会館と地域創造部が有機的に連携し、市町ホール等と協働しながら、県民の誰もが文化芸術を身近に触れられる多彩な事業を展開する。

また、「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」や「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」などの開催を好機として捉え、積極的な事業の企画・運営を行う。

2 事業計画

(1) 法人本部

県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、福祉団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実させ、協働連携のもと、県民の誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、創作活動の発表や鑑賞の場、文化情報の提供等を通じて、誰もが文化芸術に親しめる環境を整備するほか、県や市町の文化ホール等が取り組む障害者の文化芸術活動を支えるモデル事業を支援していく。

さらに、地域で活動する若手アーティストやコーディネーターの育成・支援事業、滋賀の魅力を発信する事業等を展開し、文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀の実現を目指すとともに、これらの事業への取組をアピールし、企業、団体や個人から財団運営に対する支援に結びつける取組を進める。

ア 自主事業

県内文化ホールと連携しながら、文化芸術事業の情報共有や事業企画等のスキルアップを図る。また、NPO、企業、個人など、地域の文化芸術の担い手と協働し、文化芸術と地域をつなぐことで、誰もが身近に文化芸術に触れられる機会を提供する。

イ 受託事業

滋賀県芸術文化祭開催事業、湖国文化情報「れいかる」の編集発行と総合文化誌「湖国と文化」を県内外の図書館や教育機関等へ配本する県内文化情報提供事業を受託する。

ウ 独自事業

文化団体、芸術家、企業、学術、行政等、多様な分野で活躍する者や団体で組織するフォーラムの事務局運営を担い、各分野を越えた交流や「文化で滋賀を元気に！」する事業を推進し、本県の文化と経済の連携による地域の活性化を目指す。

エ 広報営業活動

財団全体を一体ととらえた広報活動ならびにチケット発売や企業からの支援獲得等の営業活動を行う。

(2) 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

これまでの実績を踏まえ、本年度は「挑戦」の気概をもって我が国の舞台芸術の水準の向上に貢献し、「ト

ップレベルの劇場を目指す」という視点と、誰もが気軽に訪れることができる「親しみやすい劇場を目指す」という双方の視点に立ち、「ここに劇場があって良かった」と思っていただけのように、バランス良く多彩な事業を展開する。

ア 自主事業

国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場いただけることを目指す。

びわ湖ホール「創造活動の核」として設置しているびわ湖ホール声楽アンサンブルを中心とした自主事業の制作をはじめ、歌劇、音楽、演劇、舞踊等の多彩なジャンルにわたって、質が高く特色ある事業を厳選して実施する。

春の音楽祭をはじめ、地域の賑わいの創出や経済の活性化への貢献と併せて、滋賀県や関西圏への注目が高まる本年度においては、これらの好機を生かして、更なる発展が遂げられるよう、関係機関と連携した事業を進めるとともに、人材育成やアウトリーチ等の取組により、舞台芸術を広く県民の皆様に普及させる活動にも取り組む。

また、インバウンドの増加を踏まえ、英語字幕を掲出するオペラ公演を設けるなど、外国人の来場促進への取組も進める。

イ 広報営業活動

情報発信とチケットの販売促進を図るため、ホームページ、メールマガジン、SNS等を使用した幅広いPR活動のほか、多様なパブリシティ活動、情報誌の発行、新聞、雑誌等による広告宣伝を行う。

さらに、オフィシャルスポンサー制度をはじめとする企業団体等の協賛制度の周知・利用を積極的に進め、びわ湖ホールのファンを増やし、チケット販売、友の会会員、寄付者等の増加につなげるため、地域の企業、経済団体、関係施設・団体等との良好な関係継続に努める。友の会の特別会員・サポート会員については、そのメリットを積極的にPRし、個人・企業を問わず広く加入を勧める。

地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえ、会員招待対象の公演を幅広く設定するなど、財団としてのメリットを最大限生かした営業活動を行う。

(3) 滋賀県立文化産業交流会館

滋賀県北部の芸術文化活動の拠点として、湖北地域の豊かな自然、歴史、伝統文化などの地域資源を活かし、古典芸能を次世代に継承する取組を県内外に発信していくとともに、産業分野をはじめとする多様な分野との連携に努め、施設の機能を活かした魅力ある事業を展開する。

ア 自主事業

「長栄座」の自主制作公演をはじめ、邦楽を中心とした実演家の養成や古典芸能キッズワークショップ、小中学校へ邦楽アーティストを派遣する「和のじかん」など、古典芸能を次世代に継承する取組を系統立てて実施するとともに、湖北地域の民話を題材にした邦楽ミュージカルにも取り組み、子どもや青少年の創造力を育むとともに、地域への愛着や誇りを醸成する。また、多機能に使えるイベントホールの機能を活かして、0歳児からのコンサートやマーチングバンドの祭典を実施するほか、関係機関と連携しながら産業分野をはじめとする多様な方々との情報交換会や伝統産業展を実施する。

イ 広報営業活動

舞台芸術情報誌「湖響」（年4回）への記事掲載や新聞への寄稿（月2回）、自治体広報紙、ホームページおよびSNSによる情報発信、新聞・放送局への資料提供等による広報活動を行う。

収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経 常 増 減 の 部				
(1) 経 常 収 益				
基本財産運用益	566	566	—	
受 取 会 費	28,700	28,200	500	
利 用 料 金 収 益	246,346	209,583	36,763	
事 業 収 益	267,627	261,263	6,364	
受 取 補 助 金 等	1,599,539	3,005,311	△ 1,405,772	
受 取 寄 付 金	91,718	28,845	62,873	
雑 収 益	16,562	14,395	2,167	
引 当 金 取 崩 額	6,031	—	6,031	
経 常 収 益 計	2,257,089	3,548,163	△ 1,291,074	
(2) 経 常 費 用				
事 業 費	2,386,249	3,658,233	△ 1,271,984	
管 理 費	18,898	15,806	3,092	
経 常 費 用 計	2,405,147	3,674,039	△ 1,268,892	
(うち人件費)	645,016	624,081	20,935	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 148,058	△ 125,876	△ 22,182	
評 価 損 益 等 計	—	—	—	
当 期 経 常 増 減 額	△ 148,058	△ 125,876	△ 22,182	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 148,058	△ 125,876	△ 22,182	
法人税、住民税及び事業税	124	124	—	
当期一般正味財産増減額	△ 148,182	△ 126,000	△ 22,182	
一般正味財産期首残高	472,552	454,477	18,075	
一般正味財産期末残高	324,370	328,477	△ 4,107	
II 指定正味財産増減の部				
受 取 寄 付 金	12,300	12,300	—	
一般正味財産への振替額	△ 91,718	△ 28,845	△ 62,873	
当期指定正味財産増減額	△ 79,418	△ 16,545	△ 62,873	
指定正味財産期首残高	243,906	235,236	8,670	
指定正味財産期末残高	164,488	218,691	△ 54,203	
III 正味財産期末残高	488,858	547,168	△ 58,310	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	283	—	283	—	566
受取会費	14,350	—	14,350	—	28,700
利用料金収益	94,809	151,537	—	—	246,346
事業収益	249,057	18,570	—	—	267,627
受取補助金等	1,369,325	230,214	—	—	1,599,539
受取寄付金	91,718	—	—	—	91,718
雑収益	14,466	2,068	28	—	16,562
引当金取崩額	5,589	395	47	—	6,031
経常収益計	1,839,597	402,784	14,708	—	2,257,089
(2) 経 常 費 用					
事業費用	2,108,467	277,782	—	—	2,386,249
管理費用	—	—	18,898	—	18,898
経常費用計	2,108,467	277,782	18,898	—	2,405,147
(うち人件費)	562,387	79,172	3,457	—	645,016
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 268,870	125,002	△ 4,190	—	△ 148,058
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 268,870	125,002	△ 4,190	—	△ 148,058
他会計振替額	122,803	△ 125,002	2,199	—	—
税引前当期一般正味財産増減額	△ 146,067	—	△ 1,991	—	△ 148,058
法人税、住民税及び事業税	—	124	—	—	124
当期一般正味財産増減額	△ 146,067	△ 124	△ 1,991	—	△ 148,182
一般正味財産期首残高	338,026	64,730	69,796	—	472,552
一般正味財産期末残高	191,959	64,606	67,805	—	324,370
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	12,300	—	—	—	12,300
一般正味財産への振替額	△ 91,718	—	—	—	△ 91,718
当期指定正味財産増減額	△ 79,418	—	—	—	△ 79,418
指定正味財産期首残高	182,606	—	61,300	—	243,906
指定正味財産期末残高	103,188	—	61,300	—	164,488
III 正味財産期末残高	295,147	64,606	129,105	—	488,858

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和6年度事業報告

公益財団法人 びわ湖芸術文化財団

県域全体の文化振興施策を総合的に推進するため、財団の強みを生かし、効率的・効果的な事業展開に努めるとともに、滋賀県から受託している滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよび滋賀県立文化産業交流会館の当期指定管理者の4年目として、これまで培ってきたノウハウを生かし、当該施設の適切な管理運営を行った。

来場者をはじめ出演者やスタッフの安心安全を基本とした管理運営の取組を着実に進めていくとともに、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」や「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」などの開催を見据え、コロナ禍前の活気を取り戻すべく積極的な自主事業の企画・運営に努めた。

1 法人本部

県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、学校、企業や地域等とのネットワークを充実させ、協働連携のもと、県民が身近に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、次代を担うアーティストや地域とアーティストをつなぐコーディネーターの発掘と育成に努めた。

また、県内文化ホール等との協働制作による公演開催や、文化団体等との協働による支援事業を地域創造部が担い、びわ湖ホールを含めた財団の事業を県内全域に、総合的に推進する体制の強化に努めた。

区 分		事業数	公演数	入場者数（人）
自主事業	地域連携	8	23	4,036
	人材育成	1	2	45
	情報提供	2	—	—
	計	11	25	4,081
受託事業		2	4	264,339
独自事業		1	—	—
計		14	29	268,420

2 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

(1) 自主事業等

ア 自主事業

令和6年度は、年間テーマを「夢と憧れ」として、びわ湖ホール独自の自主制作による創造活動を基礎にしながら、県民をはじめ多くの方々に国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい繰り返し来場いただけることを目指して、オペラをはじめ、オーケストラ、室内楽、声楽、バレエ、演劇、古典芸能など幅広い多彩なジャンルの優れた公演を開催した。また、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年6月施行）」に謳われた劇場等の相互連携、地域における舞台芸術の振興、人材養成、学校教育との連携などに積極的に取り組んだ。改修工事により大・中ホールで4か月、小ホールで1か月の休館があったものの、精力的に事業を展開し、64事業208公演を行った。

【自主事業】

区 分		事業数	公演数	入場者数（人）
自主公演	大 ホ ー ル	12	17	19,710
	中 ホ ー ル	5	12	5,232
	小 ホ ー ル	12	26	7,191
	そ の 他	1	1	404
	計	30	56	32,537
普 及 事 業		23	117	29,700
共 催 等		11	35	13,051
計		64	208	75,288

イ 受託事業

文化庁からの受託事業である「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」として、県内外（滋賀県、奈良県、大阪府）の小学校9校において、声楽アンサンブルによるオペラ「泣いた赤おに」を上演し、その関連企画として事前にワークショップ「ふれあい音楽教室～泣いた赤おに～」を開催した。

ウ 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホール創造活動の核として、「オペラへの招待」シリーズのソリストや「プロデュースオペラ」の合唱を担うとともに、定期公演をはじめ、各種自主事業に出演した。

また、県や県教育委員会等との連携による「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」（「ホールの子」事業）、小学校等の体育館でコンサートを行う「学校巡回公演」、小学校の授業に声楽アンサンブルの団員とピアニストが参加し、歌唱指導等を行う「ふれあい音楽教室」を実施した。さらに、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の機運を盛り上げるため、議場コンサートを25年ぶりに開催した。

依頼公演は、「NHKニューイヤーオペラコンサート」への出演等、各地の公演依頼に積極的に応じた。

エ ネットワークの形成

滋賀県の公立文化施設協議会の会長館として館長会議を2回開催したほか、びわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修などを実施し、県内公立文化施設のネットワーク形成と職員の能力向上に努めた。

(2) 広報営業活動

ア 広報営業活動

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、パブリシティ活動、インターネットなどによる幅広い広報活動、情報誌の発行、新聞・雑誌・SNS等による広告のほか、協賛支援やスポンサーの確保、施設利用についての営業活動を行った。

地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえた情報提供を行い、広報媒体や営業の機会を相互に有効活用するなど、財団としての強みを最大限活用するよう努めた。

また、地元企業等の協力を得て、鉄道駅構内や企業店頭のパンフレットラックに公演チラシを設置するなど、幅広い層への広報活動を行った。

イ チケット販売

文化団体、職域団体等の組織販売に努めるとともに、大型公演にはＳＳ席を適切に配置して特別感を醸成するなど、チケットの効果的な販売活動を行った。また、若年層向けに、ほぼすべての公演に青少年料金（24歳以下）を設定し、U30席（30歳以下）・U24席（24歳以下）、シアターメイツ対象公演を設けるなど顧客の拡大に努めた。

ウ 貸館利用促進

顧客法人等への営業活動により、新規利用者の開拓や既存利用者の継続利用など施設の利用促進に努めた。

エ オフィシャルスポンサー

特定の自主事業に対する協賛、あるいは年間を通じた自主事業全体への協賛をいただく「びわ湖ホールオフィシャルスポンサー」に応募いただくよう働きかけを行った。年間スポンサーから事業運営に支援いただくとともに、各スポンサー企業の広告枠をびわ湖ホールウェブサイトや情報誌に掲載するなど、劇場を広告・宣伝の媒体として活用いただいた。

年間スポンサー 4 者（令和 7 年 3 月末現在）

オ 友の会運営

顧客の拡大・定着を図り、チケット販売等の営業活動を促進するため、友の会一般会員、サポート会員、特別会員を募集し、情報の提供とチケットの優先販売を行った。特に、特別会員の募集については、寄付者、サポート会員、一般会員、劇場サポーター、チケット購入者に対して個別に営業を行った。

会員数（令和 7 年 3 月末現在）

一般会員 2,183 人

サポート会員 425 者 462 口

特別会員 155 者 191 口

カ 観客創造

(ア) 劇場サポーター

人のネットワークによる観客創造を目的に、第 1 期から第 29 期までの劇場サポーター（120 名）の研修・講座を行うとともにサポーター活動を通じ、舞台芸術の普及に努めた。劇場サポーター自身が講座の講師を務めるなど、舞台芸術愛好の輪は確実に広がりを見せている。

(イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高めるため、シアターメイツ会員（6 歳以上 18 歳以下の青少年）を募集した。シアターメイツ通信を年 7 回発行し、優待公演等を案内した。また、びわ湖ホールで開催する青少年向けのイベント等を紹介した。

会員数 1,248 人（令和 7 年 3 月末現在）

(ウ) 舞台芸術情報サロン

誰もが気軽に舞台芸術に関する情報に触れられるよう、舞台芸術情報サロンを運営し、各種サービスの提供を行うとともに絵はがきやエコバッグ、タオルに加え、「神々の黄昏」ブルーレイディスク、「つばめ」ノート・クリアファイルなどのびわ湖ホールのオリジナルグッズなどを販売した。

(エ) 館内見学ツアー

一般の見学者を対象に、館内見学ツアー「まるっとステージツアー」を実施した。

(3) 施設利用事業

利用者の立場に立ったきめ細かな対応を徹底し、リピーターの確保を含め施設利用の促進に努めた。

なお、改修工事により、大・中ホールを 4 か月（7 月～10 月）、小ホールを 1 か月（8 月）休館したこと

で、貸館利用件数、入場者数ともに前年度を下回った。

区 分	貸館利用件数	入場者数(人)
大 ホ ー ル	29	39,782
中 ホ ー ル	23	9,988
小 ホ ー ル	85	10,368
計	137	60,138

(4) 管理運営

施設の適正な管理を行うことで、施設の安全な運用や、長寿命化にも資するとともに、びわ湖ホールとして質の高いサービスの提供を行った。また、施設が老朽化する中で、利用者ニーズに合わせた効果的な改修を行い、安心安全な施設管理に努めた。令和6年度は、給排水設備や空調設備の劣化に伴う設備更新、洗面台やベビーシートの更新等、施設・設備の老朽化・経年劣化に伴う修繕・更新工事等を行った。

3 滋賀県立文化産業交流会館

(1) 自主事業等

ア 自主事業

県北部の芸術文化活動の拠点として施設や地域の特性を活かした「長栄座」公演をはじめ、古典芸能を次世代へ継承するワークショップや学校アウトリーチ、子どもや青少年による県民参加ミュージカル、滋賀にゆかりのある若手演奏家による室内楽コンサート、びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会、産業分野と連携した講座や展示等、幅広い分野の自主事業に取り組んだ。

区 分	事業数	公演数	入場者数(人)
イベントホール	10	12	6,852
小 劇 場	4	8	997
普 及 事 業	10	25	15,595
共 催 事 業 等	5	8	3,107
計	29	53	26,551

イ ネットワークの形成

滋賀にゆかりのある演奏家の出演、起業家を対象にしたビジネスセミナー、県内の伝統的工芸品や特産品等の展示即売会など、多方面でのネットワークの構築に努めた。また、「北にきゅんせ音楽会」では、青岸寺(米原市)やヤンマーミュージアム(長浜市)と連携し、邦楽による地域交流プログラムを実施するなど北部地域における新たなネットワーク形成を図ることができた。

(2) 広報営業活動

ア 広報営業活動

自主事業のPR、チケットの販売および施設利用の促進のため、ウェブサイトをはじめブログやSNS、メールマガジンを活用し、コンスタントな情報発信に努めた。特に「長栄座」公演においては、チケット購入者向けに竹生島乗船代が割引になるキャンペーンを実施するなど企業と連携した広報に努めた。

また、びわ湖ホール友の会向けの招待公演に当館の公演を継続的に組み入れたことにより、新たな顧客層の拡大を図ったほか、会館周辺の自治会をはじめ、小中学校、銀行、スーパー等に毎月チラシを持参するなど広報活動に努めた。

イ チケット販売

ニーズの高い自主事業は、各企業や各プレイガイドでの先行受付を行うなど、集中的な販売に努めた。また、蓄積した顧客情報を活用し、ダイレクトメールのほかパソコンやスマートフォンにチケット情報を配信するなど、効果的なチケットの販売活動を行った。

ウ メールマガジン「アートフレンド」運営

新規顧客やチケット販売数の拡大を図るため、定期的に会員向けの情報提供を行った。

アートフレンド会員数 1,846人（令和7年3月末現在）

(3) 施設利用事業

新規顧客の獲得や継続利用を図るため、親しみある施設案内パンフレットの作成やSNS等でPRを行った。イベントホールについては、長期にわたる社員研修や展覧会、興行など様々な用途に利用された。

区 分	貸館利用件数	入場者数(人)
イベントホール	112	31,094
小 劇 場	54	4,748
会議室・練習室	494	13,521
計	660	49,363

(4) 管理運営

施設の安心安全な管理運営に努めるとともに、多目的施設として多様な利用の要望に応えられるよう柔軟な対応を行った。また、館内の情報共有を図るため、入居者による連絡会議を年2回開催した。

施設整備については、空調設備（冷却塔）の改修のほか、イベントホールの引き割幕の修理や会議室および練習室の机・椅子の更新を行うなど、快適な利用環境の整備に努めた。

また、多くの来館者が見込まれる場合は、当館の駐車場では不足するため、近隣駐車場を確保するとともに、警備員を配備するなどして対策に努めた。

正味財産増減計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	566,800	566,800	—
受取会費	25,773,000	28,497,968	△ 2,724,968
利用料金収益	172,860,909	213,788,230	△ 40,927,321
事業収益	209,104,602	280,629,751	△ 71,525,149
受取補助金等	2,998,714,626	1,583,787,953	1,414,926,673
受取寄付金	12,117,499	28,964	12,088,535
雑収益	14,290,314	20,029,343	△ 5,739,029
経常収益計	3,433,427,750	2,127,329,009	1,306,098,741
(2) 経常費用			
事業費用	3,427,114,045	2,069,677,948	1,357,436,097
管理費用	10,003,608	10,104,619	△ 101,011
経常費用計	3,437,117,653	2,079,782,567	1,357,335,086
(うち人件費)	619,932,020	569,866,820	50,065,200
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,689,903	47,546,442	△ 51,236,345
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 3,689,903	47,546,442	△ 51,236,345
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,689,903	47,546,442	△ 51,236,345
法人税、住民税及び事業税	122,200	122,200	—
当期一般正味財産増減額	△ 3,812,103	47,424,242	△ 51,236,345
一般正味財産期首残高	535,564,005	488,139,763	47,424,242
一般正味財産期末残高	531,751,902	535,564,005	△ 3,812,103
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	20,629,431	15,839,458	4,789,973
特定資産運用益	46,582	706	45,876
一般正味財産への振替額	△ 12,117,499	△ 28,964	△ 12,088,535
当期指定正味財産増減額	8,558,514	15,811,200	△ 7,252,686
指定正味財産期首残高	235,401,167	219,589,967	15,811,200
指定正味財産期末残高	243,959,681	235,401,167	8,558,514
III 正味財産期末残高	775,711,583	770,965,172	4,746,411

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	283,400	—	283,400	—	566,800
受取会費	12,886,500	—	12,886,500	—	25,773,000
利用料金収益	63,515,824	109,345,085	—	—	172,860,909
事業収益	191,348,422	17,756,180	—	—	209,104,602
受取補助金等	2,597,309,971	401,404,655	—	—	2,998,714,626
受取寄付金	10,466,499	1,651,000	—	—	12,117,499
雑収益	9,031,502	5,258,812	—	—	14,290,314
経常収益計	2,884,842,118	535,415,732	13,169,900	—	3,433,427,750
(2) 経 常 費 用					
事業費用	3,008,048,026	419,066,019	—	—	3,427,114,045
管理費用	—	—	10,003,608	—	10,003,608
経常費用計	3,008,048,026	419,066,019	10,003,608	—	3,437,117,653
(うち人件費)	536,020,383	81,000,839	2,910,798	—	619,932,020
評価損益等調整前当期経常増減額	△123,205,908	116,349,713	3,166,292	—	△ 3,689,903
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△123,205,908	116,349,713	3,166,292	—	△ 3,689,903
他会計振替額	122,730,103	△123,953,340	1,223,237	—	—
税引前当期一般正味財産増減額	△ 475,805	△ 7,603,627	4,389,529	—	△ 3,689,903
法人税、住民税及び事業税	—	122,200	—	—	122,200
当期一般正味財産増減額	△ 475,805	△ 7,725,827	4,389,529	—	△ 3,812,103
一般正味財産期首残高	403,223,624	64,854,240	67,486,141	—	535,564,005
一般正味財産期末残高	402,747,819	57,128,413	71,875,670	—	531,751,902
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	20,629,431	—	—	—	20,629,431
特定資産運用益	46,582	—	—	—	46,582
一般正味財産への振替額	△ 10,466,499	△ 1,651,000	—	—	△ 12,117,499
当期指定正味財産増減額	10,209,514	△ 1,651,000	—	—	8,558,514
指定正味財産期首残高	172,449,617	1,651,550	61,300,000	—	235,401,167
指定正味財産期末残高	182,659,131	550	61,300,000	—	243,959,681
III 正味財産期末残高	585,406,950	57,128,963	133,175,670	—	775,711,583

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	351,291,184	358,307,444	△ 7,016,260
未 収 金	168,297,326	206,889,483	△ 38,592,157
前 払 金	439,200	436,200	3,000
前 払 費 用	1,843,180	210,340	1,632,840
刊 行 物	9,810,421	9,602,975	207,446
販 売 促 進 物	1,281,843	1,224,249	57,594
流 動 資 産 合 計	532,963,154	576,670,691	△ 43,707,537
2 固 定 資 産			
基 本 財 産			
基 本 財 産 預 金	13,500	13,500	—
投 資 有 価 証 券	122,586,500	122,586,500	—
基 本 財 産 合 計	122,600,000	122,600,000	—
特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	58,979,018	44,061,852	14,917,166
退 職 給 付 準 備 預 金	16,248	13,737,248	△ 13,721,000
事 業 推 進 積 立 資 産	10,000,000	42,478,244	△ 32,478,244
運 営 調 整 積 立 資 産	106,621,378	106,429,002	192,376
舞 台 芸 術 基 金 積 立 資 産	108,622,952	88,586,096	20,036,856
夢キラリ文化基金預金	2,735,480	2,427,822	307,658
令和6年度プロデュース	—	39,000,000	△ 39,000,000
オペラ積立資産			
びわ湖ホールリニューアル記念積立資産	32,000,000	24,000,000	8,000,000
(公財)びわ湖芸術文化	12,000,000	8,000,000	4,000,000
財団統合10周年記念事業			
積立資産			
国スポ・障スポ滋賀応援	—	2,000,000	△ 2,000,000
事業積立資産			
長栄座「湖北百景」開催	—	27,000,000	△ 27,000,000
記念事業積立資産			
国スポ・障スポ滋賀県開	30,000,000	15,000,000	15,000,000
催記念事業積立資産			
大阪・関西万博開催記念	20,000,000	10,000,000	10,000,000
事業積立資産			
令和7年度プロデュース	60,000,000	30,000,000	30,000,000
オペラ積立資産			
びわ湖ホール開館30周年	10,000,000	5,000,000	5,000,000
記念事業積立資産			
文化産業交流会館開館40	4,000,000	2,000,000	2,000,000
周年記念事業積立資産			
シエナ・ウインド・オー	—	6,000,000	△ 6,000,000
ケストラ連携・協力協定			
締結記念事業積立資産			
什 器 備 品	1	1	—
特 定 資 産 合 計	454,975,077	465,720,265	△ 10,745,188
その他固定資産			
車 両 運 搬 具	3	951,613	△ 951,610
什 器 備 品	1	1	—

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
そ の 他 固 定 資 産 合 計	4	951,614	△ 951,610
固 定 資 産 合 計	577,575,081	589,271,879	△ 11,696,798
資 産 合 計	1,110,538,235	1,165,942,570	△ 55,404,335
Ⅱ 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	159,796,797	265,183,565	△ 105,386,768
前 受 金	62,718,055	31,984,553	30,733,502
預 り 金	15,079,341	13,334,734	1,744,607
未払法人税等	122,200	122,200	—
県使用料預り金	275,914	326,295	△ 50,381
未払消費税等	5,389,200	10,568,900	△ 5,179,700
仮 受 金	60,000	50,000	10,000
賞 与 引 当 金	32,406,127	29,345,299	3,060,828
流 動 負 債 合 計	275,847,634	350,915,546	△ 75,067,912
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	58,979,018	44,061,852	14,917,166
固 定 負 債 合 計	58,979,018	44,061,852	14,917,166
負 債 合 計	334,826,652	394,977,398	△ 60,150,746
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	243,959,681	235,401,167	8,558,514
(うち基本財産への充当額)	(122,600,000)	(122,600,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(121,359,681)	(112,801,167)	(8,558,514)
2 一 般 正 味 財 産	531,751,902	535,564,005	△ 3,812,103
(うち特定資産への充当額)	(274,636,378)	(308,857,246)	(△ 34,220,868)
正 味 財 産 合 計	775,711,583	770,965,172	4,746,411
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	1,110,538,235	1,165,942,570	△ 55,404,335

貸借対照表内訳表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 資 産 の 部					
1 流 動 資 産					
現金預金	204,120,993	75,105,601	72,064,590	—	351,291,184
未収金	151,463,458	16,770,543	63,325	—	168,297,326
前払金	381,082	56,618	1,500	—	439,200
前払費用	1,563,077	279,585	518	—	1,843,180
刊行物	9,810,421	—	—	—	9,810,421
販売促進物	980,525	301,318	—	—	1,281,843
流動資産合計	368,319,556	92,513,665	72,129,933	—	532,963,154
2 固 定 資 産					
基本財産					
基本財産預金	6,750	—	6,750	—	13,500
投資有価証券	61,293,250	—	61,293,250	—	122,586,500
基本財産合計	61,300,000	—	61,300,000	—	122,600,000
特定資産					
退職給付引当資産	51,326,015	7,644,618	8,385	—	58,979,018
退職給付準備預金	948	1,000	14,300	—	16,248
事業推進積立資産	10,000,000	—	—	—	10,000,000
運営調整積立資産	106,621,378	—	—	—	106,621,378
舞台芸術基金積立資産	108,622,952	—	—	—	108,622,952
夢キラリ文化基金預金	2,735,480	—	—	—	2,735,480
びわ湖ホールリニューアル記念積立資産	32,000,000	—	—	—	32,000,000
(公財)びわ湖芸術文化財団統合10周年記念事業積立資産	12,000,000	—	—	—	12,000,000
国スポ・障スポ滋賀県開催記念事業積立資産	30,000,000	—	—	—	30,000,000
大阪・関西万博開催記念事業積立資産	20,000,000	—	—	—	20,000,000
令和7年度プロデュースオペラ積立資産	60,000,000	—	—	—	60,000,000
びわ湖ホール開館30周年記念事業積立資産	10,000,000	—	—	—	10,000,000
文化産業交流会館開館40周年記念事業積立資産	4,000,000	—	—	—	4,000,000
什器備品	1	—	—	—	1
特定資産合計	447,306,774	7,645,618	22,685	—	454,975,077
その他固定資産					
車両運搬具	—	1	2	—	3
什器備品	—	—	1	—	1
その他固定資産合計	—	1	3	—	4
固定資産合計	508,606,774	7,645,619	61,322,688	—	577,575,081
資産合計	876,926,330	100,159,284	133,452,621	—	1,110,538,235
II 負 債 の 部					
1 流 動 負 債					
未払金	135,278,843	24,475,918	42,036	—	159,796,797
前受金	58,360,324	4,357,731	—	—	62,718,055
預り金	14,310,597	735,855	32,889	—	15,079,341
未払法人税等	—	122,200	—	—	122,200

科	目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
	県使用料預り金	242,804	33,110	—	—	275,914
	未払消費税等	4,473,036	862,272	53,892	—	5,389,200
	仮 受 金	60,000	—	—	—	60,000
	賞与引当金	27,467,761	4,798,617	139,749	—	32,406,127
	流動負債合計	240,193,365	35,385,703	268,566	—	275,847,634
2	固定負債					
	退職給付引当金	51,326,015	7,644,618	8,385	—	58,979,018
	固定負債合計	51,326,015	7,644,618	8,385	—	58,979,018
	負債合計	291,519,380	43,030,321	276,951	—	334,826,652
Ⅲ 正味財産の部						
1	指定正味財産					
	指定正味財産合計	182,659,131	550	61,300,000	—	243,959,681
	(うち基本財産への充当額)	(61,300,000)	(—)	(61,300,000)	(—)	(122,600,000)
	(うち特定資産への充当額)	(121,359,131)	(550)	(—)	(—)	(121,359,681)
2	一般正味財産	402,747,819	57,128,413	71,875,670	—	531,751,902
	(うち特定資産への充当額)	(274,621,628)	(450)	(14,300)	(—)	(274,636,378)
	正味財産合計	585,406,950	57,128,963	133,175,670	—	775,711,583
	負債及び正味財産合計	876,926,330	100,159,284	133,452,621	—	1,110,538,235